

## 障害者ライフモデルルームのご紹介

国立障害者リハビリテーションセンター（以下、「国リハ」と記す。）では、支援機器などの体験を含め、様々な情報発信や情報交流などができる場の1つとして、「障害者ライフモデルルーム」を整備し、本年度より活用を開始することとなりました。様々な試行錯誤も含め、多くの皆様のご要望やご期待に添えるように、徐々に有効活用を進めていきたいと思っております。

施設の場所は、国リハ内にあります。現在、国リハは病院等を整備工事中であり、計画では国リハの歩行者用正門（平成26年度予定）が研究所の近くに設置されます。その道路を挟んで研究所の前に施設が建てられました（図1）。将来、歩行者用正門を入ると左に研究所、右に本施設が、最初に目に入る建物になります。現在も道路から施設の外観の一部がご覧になれます。

施設は、多目的な利用を想定したスペース（約10m×11m）、手すりやスイッチなどの配置による違いを体験できるトイレおよびバスのフィッティングルーム、温度と湿度が調整できる部屋（温度は-10度から42度）を有しています。

多目的な利用を想定したスペースは、電動車いすを走らせることも可能になっており、様々な機器のデモンストレーションなどに利用可能です。



図1 外観



図2 トイレフィッティングルーム

トイレフィッティングルーム（図2）では、便座を上下・左右に動かすことで部屋の中で便座、手すり、スイッチ、トイレトペーパーの高さや位置を調整し、利便性を体験できます。バスフィッティングルームでは、浴槽や手すりなどの位置を変更できます。他に通常のバスユニット、トイレがあり、どのような工夫をしたら使い勝手がよくなるか、トイレは便器の前方向に扉がある場合や、横方向に開き戸がある場合などを試せます。

本年7月にお披露目をしました。詳細は以下をご覧ください。

[http://www.rehab.go.jp/rehanews/japanese/No341/2\\_story.html](http://www.rehab.go.jp/rehanews/japanese/No341/2_story.html)

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2012lifemodelroom.html>

研究代表者：障害工学研究部 小野栄一  
ono-eiichi@rehab.go.jp